



2014年9月11日

各 位

不動産投資信託証券発行者

日本ロジスティクスファンド投資法人

代表者名 執行役員

川島 高之

(コード番号：8967)

資産運用会社

三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社

代表者名 代表取締役

川島 高之

問い合わせ先 財務企画部シニアマネージャー 関口 亮太

TEL.03-3238-7171

2015年1月期の運用状況の予想の修正に関するお知らせ

日本ロジスティクスファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2014年3月13日に公表した2015年1月期（第19期：2014年8月1日～2015年1月31日）の運用状況の予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2015年1月期（第19期）の運用状況の予想の修正（2014年8月1日～2015年1月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1口当たり 分配金 (利益超過分配 金は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金
前回発表予想 (A)	百万円 7,033	百万円 3,552	百万円 3,106	百万円 3,105	円 3,740	円 —
今回修正予想※ (B)	百万円 9,417	百万円 5,847	百万円 5,439	百万円 5,438	円 3,900 (注1)	円 —
増減額 (B - A)	百万円 2,384	百万円 2,294	百万円 2,333	百万円 2,333	円 160	円 —
増減率 (B - A) / A	% +33.9	% +64.6	% +75.1	% +75.1	% +4.3	円 —

※予想期末発行済投資口総数 830,000 口

(注1) 当期純利益から、租税特別措置法第67条の15「投資法人に係る課税の特例」及び租税特別措置法第66条の2「平成21年及び平成22年に土地等の先行取得をした場合の課税の特例」の両規定が適用される限度内で、投資法人の計算に関する規則第2条第2項第28号に定める買換特例圧縮積立金約2,200百万円を積み立てることを前提としています。なお、実際の内部留保額は変動する可能性があります。



- (注2) 上記予想は、一定の前提条件の下に算出した現時点のものであり、不動産等の追加取得若しくは売却又は運用環境の変化等により、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益、1口当たり分配金又は1口当たり利益超過分配金は変動する可能性があります。また、上記予想は実際の業績や分配金を保証するものではありません。
- (注3) 上記予想と一定以上の乖離が見込まれる場合は、予想の修正を行うことがあります。
- (注4) 単位未満の数値は切り捨てて表示しています。

## 2. 修正の理由

本投資法人が資産の運用を委託する資産運用会社である三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社は、2014年9月11日、資産の譲渡を決定しました（詳細は、2014年9月11日付「国内不動産信託受益権の譲渡及び貸借の解消に関するお知らせ（2物件）」をご参照ください。）。当該資産の譲渡により不動産等売却益を約2,620百万円計上する見込みですが、うち約2,200百万円について買換特例圧縮積立金の積立を行う予定です。

上記の結果、2014年3月13日に公表した2015年1月期の運用状況の予想の前提が変動したことにより、2015年1月期の運用状況の予想の修正を行うものです。なお、当該予想の前提条件は、2014年9月11日に公表した「2014年7月期（第18期）決算短信」の「2.運用方針及び運用状況（2）運用状況②次期の見通し D.運用状況の見通し『運用状況の予想の前提条件』」をご参照ください。

以 上

※本投資法人のウェブサイト：<http://8967.jp/>